

会員各位

日本ファイナンス学会  
第29回大会プログラム委員会  
委員長 芹田 敏夫

## 日本ファイナンス学会 第29回大会のご案内ならびに報告論文の募集

日本ファイナンス学会第29回大会を下記要領にて開催することとなりましたので、ご案内申し上げますとともに、研究論文の報告を募集いたします。ご希望の方は、2021年2月25日（木）までに大会ホームページ上で申込み手続きを行ってください。

### 大会開催日時／会場

日時：2021年6月5日（土）～6日（日）  
会場：東京工業大学・大岡山キャンパス西9号館  
東急目黒線・大井町線「大岡山」駅前（東京駅より30分）  
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1  
<https://www.titech.ac.jp/maps/>

※コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン開催に変更する可能性がございます。変更の場合、遅くとも1か月前までに決定予定ですが、状況により変更が開催日の直前となる可能性もございます。鉄道・宿泊などを予約されてキャンセル料が発生する場合には、大変恐れ入りますが、各自でご負担くださいますようお願い申し上げます。

### 大会報告応募資格

論文報告者は次の方に限ります。

- ① 正会員（個人）
  - ② 特別賛助会員からは3名、法人会員からは1名を限度に、大会開催時点において会員組織に属している方（申し込みについては各会員様のご担当者に取りまとめをお願いしています。申し込み前にご担当者もしくは大会事務局にお問い合わせ下さい。）
- 上記①、②に該当しない場合でも応募できますが、その場合、報告が認められた際には学会へ入会申し込みを行い、必ず大会当日までに会費を納入してください。ただし共著者、討論者、招待者はこの限りではありません。

### 大会報告希望申込要領

- (1) 報告申込み用のページを2020年12月1日（火）に開設予定です。以下のURLの大会webページからお申し込みください。

<https://nfa-net.jp/post-report/submit2021/>

- (2) 一昨年度の大会から報告申込みにあたって、フルペーパーが必要になりました。要旨しかない場合は応募できません。報告者の氏名、会員番号、所属、Eメールアドレス、（共著論文の場合には共著者の氏名、所属、Eメールアドレス）、論文タイトル、希望討論者の氏名、所属、Eメールアドレスをwebフォームに記入の上、フルペーパーのPDFファイルをアップロードしてください。
- (3) 審査プロセスを円滑なものにするために、報告申込みの際には発表言語（①日本語、②英語、③日本語でも英語でも可でプログラム委員会に一任）を選択してください。③日本語でも英語でも可でプログラム委員会に一任を選択した場合、発表が後述の英語セッションに組み込まれる可能性があります。また「報告テーマ分野」の一覧の(1)から(26)の中から、論文の内容を最も良く表すと思われるものを二つ以上選択してください。一覧はこのお知らせの最後にも掲載してあります。希望討論者を1名の記入を必須としますが、実務家の方に限り、希望討論者を指定できない場合は「分かりません」とご記入ください。大学院生は、指導教員に報告の了解を得た上で、指導教員のアドバイスを得るなどして希望討論者を必ず記入ください。
- (4) 本大会では特に実務家と研究者が共に研究報告し、その上で座長と報告者がパネル討論を行う実務家連携セッションを大会2日目午後（6月6日）に設定します。研究者1名から2名、実務家1名から2名が報告し、座長が報告全体に基づいて問題提起し、報告者3名ないし4名と座長でパネル討論を行います（個別報告の討論者は付けません）。テーマは、「COVID19と金融市場・企業金融」および「バリュースは死んだか」と題し、それぞれに関する研究とファイナンス実務への影響を議論します。研究者、実務家とも是非ご応募下さい。

なお、このセッションを希望する場合は、「報告テーマ分野」一覧の(1)から(26)の中から **2つを指定の上、(27)または(28)も併せて指定下さい**。応募人数や内容を検討の上、実務家連携セッション、または一般報告のいずれかでの報告受付となります。本セッションは、会場でのセッションをオンラインで同時配信し、非会員にも公開する予定です。

- (5) 応募の締切は **2021年2月25日(木)** とします。着信した申込みには「発表申込確認メール」が送られます。申込み後1日たっても返信が届かない場合には、文末の第29回大会事務局までお問い合わせください。
- (6) プログラム委員会において報告内容を審査し、発表申込者に諾否を **2021年3月末日**までに通知する予定です。また、審査のうえで必要だと判断された場合、研究報告内容に関してより詳細な追加情報の提供を求めることがあります。
- (7) 報告が認められた際には、大会で他の論文の討論者をお願いすることがあります。
- (8) 申込者が多数の場合、同一者による同一大会における複数報告は制限する場合があります。その際は、応募時の論文の完成度がより高いと考えられる論文報告を優先します。
- (9) 発表申込み時の論文を採択後に改訂したい場合は、修正後の論文のPDFファイルを **2021年5月17日(月)**までに必ずアップロードしてください。

### 大会報告当日、報告論文

- (1) 期日までに提出された最終フルペーパーは、大会ホームページにも掲載され、学会正会員は大会の前後を問わず、ダウンロードすることができるようになります。
- (2) 大会での報告時間は、討論・質疑応答を含め40分を予定しています（実務家連携セッションを除く）。ただし、申込者数によっては報告時間を調整する場合があります。プログラムの概要決定後、プログラム委員会は発表者・討論者・座長にセッション概要を伝えます。
- (3) 実務家連携セッションは、報告時間は一人15分を予定しています。プログラムの概要決定後、プログラム委員会は発表者・座長とセッションの進め方の検討会を開催します。
- (4) 各報告会場には、ノートPCとプロジェクターが用意されます。PowerPointやPDFのスライドを使って報告される方は、当日、USBメモリでファイルを持参し、必ずセッションの開始前にノートPCにコピーしておいてください。オンライン開催の場合は、Zoomを使用予定であり、ご自宅等から報告スライドを画面共有して頂き、ライブまたは録画によるご報告を頂きます。

### 英語セッション

近年、海外からの参加・報告希望の問い合わせが増加しているため、英語での報告・発表を積極的に推奨いたします。英語論文／報告だけのセッションを設ける予定ですので、ふるってご申込みください。また、内外の研究者で、英語での研究報告を希望される方をご存知でしたら、どうかお声がけ下さい。

\*

\*

\*

### 報告テーマ分野

- (1) Asset Pricing (2) Fixed Income Securities (3) Equity Markets (4) Derivatives
- (5) Corporate Finance (6) Mergers; Acquisitions; Corporate Restructuring (7) Corporate Governance
- (8) Market Microstructure (9) Risk Management (10) Banking and Financial Intermediaries
- (11) Portfolio Choice; Investment Decisions (12) International Finance (13) Monetary Economics
- (14) Alternative Investments (15) Mathematical Finance (16) Financial Econometrics
- (17) Behavioral Finance (18) Experimental Finance (19) Accounting (20) Real Options
- (21) Insurance (22) Fund Management (23) Credit Risk (24) Real Estate (25) Commodities
- (26) その他(ファイナンスに関するもの)
- (27) COVID19ショックと金融市場・企業金融（実務家連携セッション向けテーマ1：日本語のみ）
- (28) バリュースは死んだか（実務家連携セッション向けテーマ2：日本語のみ）

#### <問合せ先>

日本ファイナンス学会 第29回大会事務局

(担当：中川・小林)

〒160-8519 東京都新宿区南元町19

一般社団法人金融財政事情研究会 内

Tel:03-3354-2377 Fax:03-3359-7947

E-mail: [nfa2021@nfa-net.jp](mailto:nfa2021@nfa-net.jp)